

中国地域産学官コラボレーションシンポジウム 地域イノベーション創出 2015 in ひろしま



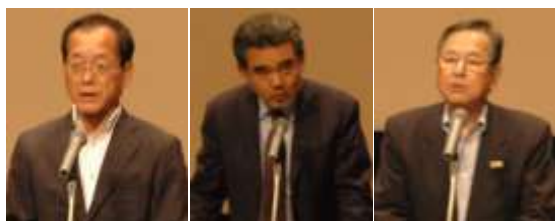
平成 27 年 7 月 16 日（木）広島市において、山下当連合会会長をはじめ 250 名出席のもと、産学官連携シンポジウム『地域イノベーション創出 2015 in ひろしま』を開催した。

当日は、(株)ネットワーク応用通信研究所フェロー、楽天(株)技術研究所フェローのまつもとゆきひろ氏をお招きしご講演いただいた。続いて、中国地域内外の機関の方から産学官連携・イノベーション創出の取組について紹介頂いた。

【主催】中国地域産学官コラボレーション会議※

※中国地域の産学官連携を推進する主要 88 機関による組織体
(当連合会ほか 3 機関が事務局)

■開会挨拶



中下副知事 越智学長 山下会長

広島県の中下副知事に続き、主催者を代表して広島大学の越智学長と当連合会の山下会長からの挨拶でシンポジウムがスタートした。

越智学長からは、「広島大学では、産官学連携による共同研究や受託研究を積極的に進めており、これまでは個別の課題解決に向けた教員と企業との「点と点」の個別連携が多かったが、これからは組織間の「面と面」の連携を推進していく。さらには、複数企業・大学等とのコンソーシアム型の産官学連携も強化していきたい。本シンポジウムが産官学連携の強化、広域化、発信力強化、人材交流の促進等への一助となることを期待する。」とあり、山下会長からは、「グローバル競争の激化などによる産業の空洞化の加速や、雇用の縮小が懸念をされる中で、中国地方の強みである「ものづくり」をはじめとする地域産業の基盤強化を図ると同時に、産学官連携を通じたイノベーション創出や大企業の人材も活用した高度な人材育成を推進し、新たな成長産業を創出していくことが不可欠である。そのためにも、地域間、企

業間、大学間および産学官の広域的な連携をさらに強化し、中国地方の発展に貢献していくという強い気概と自覚を持つことが大切である。」と挨拶があった。

■基調講演

『イノベーションを生む

コミュニティ開発』

(株)ネットワーク応用通信

研究所 フェロー、

楽天(株)技術研究所 フェロー

まつもと ゆきひろ 氏



- ・従来のイノベーションの定義は「技術革新」とされているが、アップルの起こしたイノベーションを見ると、真のイノベーションの定義は「社会的インパクト」である。
- ・プログラミング言語「Ruby」は開発者や利用者によるコミュニティを活用して改善を続け、社会へインパクトを与えるまでに発展した。
- ・今後、多くの分野でコミュニティベースによる新たなイノベーションが起こることを期待する。

■産学官連携・イノベーション創出の取組紹介①

『産学官金連携による
「江戸っ子1号」の開発』

東京東信用金庫
コーディネーター

桂川 正巳 氏



東京下町の中小企業を中心とした産学官金の連携プロジェクトにより開発し、事業化を進めている無人の深海探査ロボット「江戸っ子1号」について、開発・事業化までのプロジェクト推進体制、活動内容、成果などを江戸っ子1号で撮影した水深8,000mの映像を交えてご紹介いただいた。

■産学官連携・イノベーション創出の取組紹介②

『三次元造形技術がもたらす
デジタルものづくり革新』

近畿大学工学部

ロボティクス学科 教授、
次世代基盤技術研究所

3D造形技術研究センター長

京極 秀樹 氏



産業用3Dプリンタについて、開発の必要性、最新装置の開発状況、航空宇宙・自動車・医療など多くの分野での活用事例、ものづくりにおける将来の位置付けなどをご紹介いただいた。また、京極氏がプロジェクトリーダーをされている産学官で構成される「技術研究組合次世代3D積層造形技術総合開発機構」による次世代型産業用3Dプリンタ等の構築を目指した取り組みについてご紹介いただいた。

■産学官連携・イノベーション創出の取組紹介③

『自動車産業に係るひろしま
産学官連携の進め方』

マツダ(株)

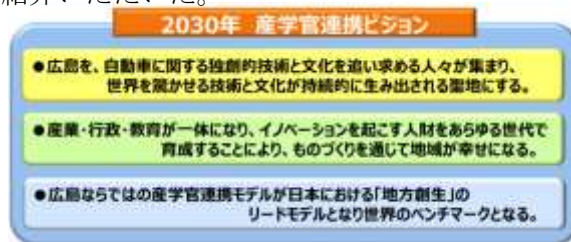
R&D技術管理本部長

木谷 昭博 氏



マツダの産学官連携の取り組みとして、広島大学との包括的連携に関する協定に基づく幅広い分野での共同研究や人材交流等の取り組み、産学官の協働により「2030年産学官連携ビジョン(下図)」を実現するために設立された「ひろしま自動車産学官連携推進会議」の取り組みなどについて

ご紹介いただいた。



出展:ひろしま産業振興機構ウェブサイト

■産学官連携・イノベーション創出の取組紹介④

『地域イノベーション創出を
めざした広島大学の人材育成』
広島大学

産学・地域連携センター長

橋本 律男 氏



地域におけるイノベーション創出を目指した広島大学の人材育成プログラムの全体像をご紹介いただいた後、具体的な取り組みとして、ひろしまアントレプレナーシッププログラム、フェニックス協力会・イノベーション研修事業、ひろしま医工連携イノベーション事業などについてご紹介いただいた。

■閉会挨拶

最後に、経済産業省中国経済産業局長の畑野浩朗氏より、「本日の講演等を聞いて、地域活性化という一つの目標に向けて、産学官から自由闊達な意見がでるようなプラットフォームをつくるために、経産局もますます努力をして貢献したい。来年のシンポジウムも今年以上の参加者を集め盛会に開催されることを期待する。」との挨拶があった。来年のシンポジウムは岡山で開催する予定。



■資料展示

当日は、シンポジウム会場入口のホールにおいて、コラボレーション会議メンバーの活動を紹介するパネルやパンフレット等の展示を行った。

■交流会

シンポジウム終了後、交流会の開催が予定されていたが、台風接近に伴い中止となった。

(担当:三上)